

# BE WILD

2009.05 活動報告  
日本ボーイスカウト阿見第1団  
<http://www.bs-ami.net>



●「くそっ、次回はトップで帰ってくるぞ!!」



## 少年よ 小さくかたまるな

## —冒険と夢—

～サトウハチロー～

森がある  
高い木がある  
のぼりたくなる

山がある  
洞窟（ほらあな）がある  
中へはいりたくなる

地図がある  
ひたいをよせて 指でたどる  
仲間と歩きたくなる

これが少年の心なのだ  
ものに向かっていく少年の心  
その心こそ大切なのだ

みみずばれ キリキズ たんこぶ  
赤いクスリ 白いホータイ  
想い出の中にかびあがるたのしい色

少年よ  
空気をかみしめながら  
自分をためし 自分と戦え

少年よ  
小さくかたまるな  
動きがとれなくなる

のびる手がある  
動く足がある  
使いたくなる

するどい目がある  
敏感な耳がある  
ものを聞きわめたくなる

冒険がある  
夢がある  
願いをかなえたいくなる

少年よ  
その中におもいきりひたり  
その日その日の生活（くらし）に  
すばらしい弾力をつける

詩集「あすは君たちのもの」より



※この詩は、ボーイスカウトの活動を見て作詩されたものです。

## BVS 隊の 5 月の活動

●ビーバースカウト隊

幼稚園年長～小2：8月

### ●お母さん、ありがとう！ (母の日のプレゼント作り) 5月10日

イチゴのパックを2個使い、中に絵を描いたものや、色紙、広告などをお花や虫の形に切り取ったものをはさんで、きれいな「もの入れ」を作りました。

お母さんへの感謝の気持ちを表現して、とてもいいものことができました。お母さんもとても喜んでくれていると思いますよ。

その後、ビーバービオトープのなかのカブトムシの幼虫をみんなで分け

ました。たくさんの幼虫がいて、みんなとても驚いていましたね。お母さん達には、あまり好評ではなかったようですが…。



### ●さあ、たんけんだ!! (ふれあいの森でのフィールドゲーム)

5月23日

ふれあいの森の中を探検し、チェックポイントでのゲームを楽しみました。CP1：ブルーシートの上をほふく前進し競争。みんな上手にできました。お父さんたちもがんばっていましたね。

CP2：ボールをドリブルしながらの競争。サッカー選手のようにはいきませんが、俊敏な動きでした。

CO3：ペットボトル5本をピンにした



ボーリング。練習を行い、いざ本番へ。ストライクを取ったスカウトはいませんでしたが、盛り上がりました。

CP4：展望台からの大声大会。牛久大仏に向かってみんな精一杯大声を出してくれました。女の子の方が大きな声が出ていましたよ。

男の子チーム、女の子チームに分かれて競争しましたが、女の子チームの圧勝でした。チームワークが良かったのかな。でも、男の子チームもがんばっていましたよ。



## CS 隊の 5 月の活動

●カブスカウト隊

小2：9月～小5：8月

### ●エリア67 de 1泊キャンプ 5月23～24日

7月の夏キャンプに備えた、事前訓練として活動を行いました。

1日目は、テント設営、追跡ハイク、野外調理、キャンプ・ファイヤー、肝ためし、スカウト祭のポスター作り等のプログラムを行いました。

参加したスカウトは、今回のキャンプに備えて、寝袋の収納、自分の荷物の片づけ、着替え等、かなり練習して来たようで、隊長の心配は良い意味で、期待を裏切られました。

というのも、2日目の朝、起床時間の6時30分頃から、雨が降り出し、かなり強い雨足になってきました。天

気予報でも晴れは期待できず、キャンプは中止とし、解散となりました。その時、雨の中でテントから自分の荷物の移動を、短時間でしかも全員がきびきび行いました。こういう予期しない厳しい状況のなかで、スカウトが落ち着いて、指導者の指示に従って行動できたことが今回のキャンプでの一番の収穫です。

5月に入り、新型インフルエンザの感染が、関東地方でも確認され、今回のキャンプの開催が危ぶまれた中での活動でした。二日目のキャンプは雨で中止となりましたが、この雨で、インフルエンザ・ウイルスが、きれい、さっぱり洗い流され、今後のスカウト活動に影響が出ないことを願います。

### ●上進組・夜間ハイク体験

5月9日

伝統的なボーイ隊の恒例プログラム「夜間ハイク」に、くまスカウトは上進訓練を兼ねて、他のスカウトは体験訓練ということで、参加しました。当日は天候も良く、夜になっても、気温は下がらず、絶好のハイク日和となりました。

ボーイ隊が全員出発し、最後にカブ隊が行きます。

スタートに先立ち、ボーイの飯塚隊長から「この夜間ハイクで、何か一つ、自分の心に残るような、発見、体験をして下さい」との課題をいただき、スタートしました。



## CS 隊の 5 月の活動 つづき

●カブスカウト隊

小2：9月～小5：8月

カブ隊はスタートの阿見中央公民館からCP2の星の里公園まで、約8km、19時30分から22時まで歩きました。途中のCP1のクラシック音楽の問題、CP2の重さ合わせなど、夜歩くこと以外にも初めて経験することが楽しく、未知の世界へ一歩を踏み出した、記念すべき日になったと思います。



## BS 隊の 5 月の活動

●ボーイスカウト隊

小5：9月～中3：8月



●今回の優秀班はハヤブサ班。でも他の班との差は僅かでした。

### ● 夜間ハイク

5月9-10日

延期に延期を重ねた夜間ハイクが5月9-10日に、若栗方面25kmの設定で行われました。

今回は、阿見中・朝日中登校日が重なってしまったため、スワロー班の参加者が極端に少なくなってしまいましたが、ベンチャー隊が作成した、超？難コースに3班が挑戦しました。

コースの総距離は25kmと短めでしたが、行ったり来たりと曲がる箇所が多くて、どの班も5km以上も多く歩くことになってしまったようです。また、ベンチャー隊の工夫を凝らした課題は、難易度が高く面白かったことと思います。

今回でボーイ隊の夜間ハイクが最後になってしまう上級生諸君、来年は、君たちがぜひ面白いコースを作成してくれたまえ。



### ● サイクリング

5月31日

今月は夜間ハイクに続き、隊活動としてサイクリングを実施しました。コースは、阿見中央公民館～牛久自然観察の森～牛久大仏です。

このプログラムは、先週実施の予定が延期になったもので、この日も雨が心配されるなか、実行されました。

今回は、順調にいき、無事雨に降られる前に帰って来られたようです。どんな様子だったかは今度みんなに聞いてみてくださいね。



## VS 隊の 5 月の活動

●ベンチャースカウト隊  
中3：9月～高3：8月

### ●あれれ？ 順調過ぎるぞ

ベンチャー隊は5月の活動として4月に引き続き、ボーイ隊の夜間ハイコース作成と支援を行いました。

「このコースは難しくてマズいなぁ？」と思う我々ベンチャー隊だったのですが、当日蓋を開けてみると、非常に順調なペースで進むボーイ隊、我々の思惑をよい方向で裏切ってくれました。今のボーイ隊のレベル・・・ちょっと侮れません。

また、コース上の安全確認や、CP

運営も大変順調でした。これは当日、沢山の保護者、団委員、各隊リーダーにご協力頂けたこと、この1点に尽きると思います。

この場をお借りして、ベンチャー隊一同、御礼申し上げます。

次は、6月に実施される阿見第1団のスカウト祭です。ビーバー・カブ・ボーイに一般参加者を加えた混成チームによるウォークラリーってことで、これまたベンチャー隊が活躍します。乞うご期待！！



## RS 隊の 5 月の活動

●ローバースカウト隊  
高3：9月～25歳



### ●WB訓練に行ってきました。

WB基礎訓練は、指導者としての第2段階として受講するもので、導入訓練であるボーイスカウト講習会の上位に位置する文字通り基礎訓練です。従来のWB研修所が新訓練体系になって「WB基礎訓練」となり、いくつかのパートに分かれて順次実施されます。その最初のパートである「共通コース」にローバーであり、ビーバーの補助者である杉澤スカウトが参加し、コースディレクターである中島リーダートレーナー（阿見1ベンチャー副長）から履修証を交付されました。今後は6月のビーバー指導者のコースに進む予定です。

## ●新型インフルエンザの感染拡大におけるスカウト活動の指針について

新型インフルエンザの感染拡大を受けまして、県コミッショナーから下記の通り指針が示されました。

阿見第1団におきましても、隊集会やキャンプ等の活動を実施する場合には、指針に従った対応をすることになりますので、ご連絡します。

\*\*\*\*\*

この度の新型インフルエンザの発生に伴い、県内のスカウト活動における基本的対応についての指針を示します。

これらについては感染の防止及び拡大を防ぐという目的で対応するものです。

また、いずれの場合も、1次的には茨城県及び所属の市町村（行政・学校）の対応・指示に従ってください。以下は2次的な対応としてください。

1. 茨城県内での感染が確認された場合（2. 以外の場合）

○隊集会や班組集会等

→実施する場合は条件付きで実施可

- ・情報を収集して、団委員長と隊長で協議した上で実施の判断をする。
- ・2. を考慮した判断、連絡体制の整備をする

○キャンプ等

→自粛を検討。

- ・テント内という閉鎖された空間での生活となり、感染のおそれが高まることから、原則として自粛する方向での検討をする。
- ・やむを得ず実施する場合は、スカ

ウトに事前の継続した健康調査をして、健康であることが確認できれば、キャンプへの参加を可とする等、団委員長と隊長で十分な協議をして実施判断をする。

2. 近隣および市町村内での感染が確認された場合

○隊集会や班組集会等

→自粛する（団委員長と隊長で十分な協議をして）

○キャンプ等

→自粛する（団委員長と隊長で十分な協議をして）